

下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略

評価分析シート

平成30年度

【評価分析シート(例)】

重要業績評価指標(KPI)		基準値	年度目標値				
			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
〇〇〇〇活用件数 (項目の説明)	1件	目標値	4件 (延4件)	4件 (延8件)	4件 (延12件)	4件 (延16件)	4件 (延20件)
	最終目標値	実績値	6件 (延6件)	4件 (延10件)	4件 (延14件)		
	延20件	達成度	A	A	A		
1	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成29年度は、広報誌への掲載、ホームページの情報更新、PRチラシの配布など周知活動に力を入れた結果、昨年度に続き、年度目標の4件の活用があり、延14件となった。今後は、市内での活用事例の紹介なども行うなど、周知活動に継続的に取り組むとともに、制度の見直しなどを図りより利用しやすい制度にしていき、目標値達成に努める。					
	担当課	〇〇課					
	備考	【H28】目標値を延18件から延20件へ上方修正(目標値達成見込のため)					

【年度目標値】

目標値(平成31年度)達成に向けた各年度の目標値

【実績値】

各年度末での実績値(本年は平成29年度について記入)

【達成度】

年度目標値と実績値をもとにした各年度の達成度
 ※延数がある場合には、延数の年度目標値及び実績値により評価するものとする。

【平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組】

平成29年度の取組とそれに伴う実績値の分析、それらを踏まえて今後どのような取組を行うのかについて。

【備考】

過年度における修正内容、今年度における修正(案)などについて掲載。

達成度	評価基準
A	年度目標に対する進捗状況が 100%以上
B	年度目標に対する進捗状況が 80%以上、100%未満
C	年度目標に対する進捗状況が 50%以上、80%未満
D	年度目標に対する進捗状況が 50%未満
—	数値化できないもの
達成済	計画の策定や施設の整備など、過年度においてすでに目標値を達成したもの

$$\text{進捗状況} = \text{実績値} \div \text{年度目標値} \text{ の数値}(\%)$$

※ただし、KPIの目標値が基準値より数値を下げる項目においては、
 $\text{年度目標値} \div \text{実績値} \text{ の数値}(\%)$

基本目標① 「魅力的で安定した雇用を創出する」

数値目標	基準値	実績値				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
生産年齢人口の割合	63.9% (H27年における推計)	63.7%	63.4%	62.9%		
【数値目標の説明】 少子高齢化が進行し、また市の人口が減少すると予測される中において、人口ビジョンの将来展望が示す生産年齢人口割合の維持を図る。	目標値	【平成30年3月末日】 (15歳以上65歳未満人口 37,800人) ÷ (下野市総人口 60,084人) = 62.9% ※栃木県毎月人口調査報告書(平成29年10月1日現在の数値)によると、栃木県全体では60.2%であり、下野市(62.7%)は県内4位である。				
	61.8%					

(ア) 商工業に躍進するまちづくり	商工業の活性化による魅力ある地域づくりを推進します。
-------------------	----------------------------

①商工業による躍進するまちづくり

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値						
		年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	
1 制度融資新規活用件数	177件	目標値	200件	200件	200件	200件	200件	200件
	最終目標値	実績値	130件	162件	179件			
	200件	達成度	C	B	B			
平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	運転資金・設備資金の限度額の変更、円滑化資金の償還方法の変更、各種資金の貸付利率の引き下げ、認定特定創業支援証明書取得者への支援などの変更を行い、制度融資の利便性向上を図った。 今後も新規融資や制度内容を見直し、活用促進を図る。							
担当課	商工観光課							
備考	【H30：実績修正】平成28年度の実績値を162件に修正。							
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値						
		年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	
2 空き店舗奨励金等活用件数 (空き店舗奨励金の活用件数)	2件	目標値	3件 (延3件)	3件 (延6件)	3件 (延9件)	3件 (延12件)	延15件	
	最終目標値	実績値	2件 (延2件)	7件 (延9件)	2件 (延11件)			
	延15件	達成度	C	A	A			
平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	空き店舗奨励金の認定件数は2件、交付件数は10件であった。従来のPRに加え、金融機関への協力依頼、まちなか商店リフォーム補助の新設などによる相乗効果、地方創生の推進による新規開業意欲向上により実績が向上したと思われる。 今後もPRを続けるとともに、平成28年度から始まった創業塾を活用し、新規出店の意欲向上を図る。 なお、平成27年度以降において認定・交付した店舗については、1店舗閉鎖し、その他は営業を継続している。							
担当課	商工観光課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値						
		年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	
3 駅前広場事業実施箇所数 (JR3駅での花いっぱい事業の実施箇所数)	2か所	目標値	3か所	3か所	4か所	4か所	5か所	
	最終目標値	実績値	3か所	3か所	3か所			
	5か所	達成度	A	A	C			
平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	商工業による躍進するまちづくりの評価指標に適したものではないため削除する。							
担当課	商工観光課							
備考								

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
		年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
企業交流会・講習会の開催回数 (工業団地内立地企業相互や市内産業連携につながる交流会の開催)	年1回	目標値	1回	1回	1回	1回	毎年開催
	最終目標値	実績値	1回	1回	1回		
	毎年開催	達成度	A	A	A		
平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	11月14日に経済ジャーナリストの渋谷和宏氏による「アベノミクスの功罪 いま日本経済に本当に起きていること」と題した講演会を開催し84名の参加を、引き続き実施した交流会では57名の参加を得た。 なお、7月4日には、下野市に立地する企業及び関係機関が一体となり、連携を強化し、もって事業者の発展及び地域経済の活性化を図ることを目的に、市内87企業が参加した「下野市立地企業連絡協議会」を設立した。 今後もこの連絡協議会を中心に講演会・交流会などを通じて、交流を図っていく。						
担当課	商工観光課						
備考							

②新たな産業の誘致・育成

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
		年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
雇用奨励金活用件数 (市民居住労働者の雇用促進のための奨励金の活用件数)	1件	目標値	4件 (延4件)	4件 (延8件)	4件 (延12件)	4件 (延16件)	4件 (延20件)
	最終目標値	実績値	8件 (延8件)	0件 (延8件)	5件 (延13件)		
	延20件	達成度	A	A	A		
平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成29年度は5件の実績があった。 今後も、広報・ホームページ・各種総会の際などで、制度のPRを行っていく。						
担当課	商工観光課						
備考							
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
		年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
創業資金利用件数 (創業・女性企業家資金の活用件数)	7件	目標値	4件 (延4件)	4件 (延8件)	4件 (延12件)	4件 (延16件)	4件 (延20件)
	最終目標値	実績値	1件 (延1件)	6件 (延7件)	4件 (延11件)		
	延20件	達成度	D	B	B		
平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	創業資金では4件の活用があったが、女性企業家創業資金は0件であった。 平成28年度からの取り組みとして、「しもつけ創業塾」を開催し、新規開業の基礎知識習得機会を増やした。 なお、平成27年度以降の創業資金等利用者については、事業継続中である。						
担当課	商工観光課						
備考							
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
		年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
事業所数 (工業統計事業所数)	113事業所	目標値	114事業所	115事業所	116事業所	117事業所	120事業所
	最終目標値	実績値	107事業所	112事業所	110事業所		
	120事業所	達成度	B	B	B		
平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	新規事業所の立地できる土地がほとんどない状況で事業所数は横ばいであった。 新規事業所の立地のためにも、受け皿となる産業団地整備事業の推進を図る。						
担当課	商工観光課						
備考		【H30：実績修正】平成28年度の実績値を107事業所から112事業所へ修正。					

③雇用・就業機会の拡充

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
8	ICT講座参加者数 <small>(市独自のICT(情報通信技術)講座参加者数)</small>	17人	目標値	20人 (延20人)	20人 (延40人)	20人 (延60人)	20人 (延80人)	20人 (延100人)
		最終目標値	実績値	33人 (延33人)	33人 (延66人)	31人 (延97人)		
		延100人	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		ホームページやSNSを活用した事業所のPR力向上や、パソコンを活用した帳簿作成による効率化を目的としている。平成29年度も、定員一杯の参加が得られた。今後も、商工会に委託し実施する。					
	担当課	商工観光課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
9	技能検定合格者数 <small>(技能検定特級、一級及び単一級の合格者数)</small>	17人	目標値	25人 (延25人)	25人 (延50人)	25人 (延75人)	25人 (延100人)	25人 (延125人)
		最終目標値	実績値	22人 (延22人)	23人 (延45人)	28人 (延73人)		
		延125人	達成度	B	B	B		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成29年度の表彰式では、平成28年度の合格者23人に対し行い、ほぼ目標値の人数を表彰した。平成29年度の合格者は前期20人、後期8人の合計28人であり、単年度では目標値を上回っている。					
	担当課	商工観光課	【H29】指標を「表彰者数」から「合格者数」へ変更(年度単位で開催することとしたため)。					
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
10	近隣市町等との共催による合同説明会の開催	年1回	目標値	1回	1回	1回	1回	毎年開催
		最終目標値	実績値	2回	2回	2回		
		毎年開催	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		6月16日に「おやま地区大卒等合同企業説明会」を、3月5日に「大卒等合同企業説明会」を小山グランドホテルを会場に開催した。小山地区雇用協会の一員として説明会を開催する。					
	担当課	商工観光課						
	備考							

(イ) 地域の特性を活かした農業・農村づくり 魅力ある農畜産物の生産と効率的な経営による継続的な農業環境づくりを推進します。

①都市近郊型農業の推進

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
11	新メニューの提供数 <small>(市内農畜産物を利用した新メニューの延べ開発数)</small>	—	目標値	2件 (延2件)	2件 (延4件)	2件 (延16件)	2件 (延18件)	2件 (延20件)
		最終目標値	実績値	2件 (延2件)	12件 (延14件)	14件 (延28件)		
		20件	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成29年度は、学士会館で開催された「第2回かんぴょうサミット」において、昨年に引き続きかんぴょうを使った新メニュー14種類の試食を行った。 今後も、地元農産物(ブランド)を使った新メニューの開発を行っていく。 また、産婦に対しては、乳幼児健診及び予防接種案内時にかんぴょう100gとかんぴょうレシピを渡し、PRを行っている。						
	担当課	農政課						
	備考	【H29】目標値を10件から20件へ修正(農業公社での新メニューもカウントすることとしたため)。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
12	生産技術向上等講習会の開催 <small>(市内農畜産物の生産技術向上と若手農業者育成のための講習会)</small>	—	目標値	2回	2回	2回	2回	2回
		最終目標値	実績値	2回	3回	3回		
		年間2回	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	認定農業者を中心とした農業者を対象に、年間3回実施した。 今後も経営部門に偏りが無いよう工夫して、多くの農業者が参加できる講習会等を行っていく。						
	担当課	農政課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
13	下野市地産地消応援団認定数 <small>(下野市産農畜産物の利用促進に取り組む市内・市外の延べ事業所数)</small>	47事業所	目標値	50事業所	53事業所	56事業所	58事業所	60事業所
		最終目標値	実績値	47事業所	51事業所	52事業所		
		60事業所	達成度	B	B	B		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成29年度の実績は、前年比1事業所増の52事業所となった。 今後も事業の趣旨を十分説明し理解していただき認定事業所を増やしていく。						
	担当課	農政課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
14	市内農産物直売所の販売額	8億円	目標値	8億 4000万円	8億 8000万円	10億 2000万円	10億 6000万円	11億円
		最終目標値	実績値	8億 9500万円	9億 4700万円	9億 5200万円		
		11億円	達成度	A	A	B		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成29年度の実績は、夏場の長雨や野菜の価格高騰により、前年比500万円増にとどまった。 今後は、消費者のニーズに合った品揃え等を行い販売額を増やしていく。						
	担当課	農政課						
	備考	【H29】目標値を10億円から11億円へ修正(目標値達成見込のため)。						

②農業経営の改善

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
15	地域の担い手となる認定農業者数 (農業経営の目標に向け、自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする計画が認定された農業者数)	280人	目標値	286人	292人	298人	304人	310人
		最終目標値	実績値	287人	288人	291人		
		310人	達成度	A	B	B		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成29年度の実績は、前年比3人増の291人となった。今後も認定農業者のメリット等の説明を十分に行い、新規認定を含め後継者との共同認定による人数増を図っていく。						
	担当課	農政課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
16	新規就農者数(年間) (独立自営又は親元就農等で新たに農業を開始した農業者数)	8人	目標値	8人	8人	9人	9人	10人
		最終目標値	実績値	7人	7人	10人		
		10人	達成度	B	B	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成29年度の実績は、前年比3人増の10人となった。新規就農希望者(特に若手)の掘り起こしについては、県農業振興事務所の取組と連携し相談に当たるなど、情報を共有して行っていく。						
	担当課	農政課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
17	担い手の農地集積率 (市内耕地面積に対する認定農業者等の農地利用集積面積の割合)	40%	目標値	42%	44%	49%	50%	52%
		最終目標値	実績値	42%	48%	49%		
		52%	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成29年度の実績は、前年比1%増の49%となった。目標値52%を達成するには更なる集積が必要になることから、今後も市農業公社と連携を図り、農地中間管理機構を活用した集積を積極的に進めていく。						
	担当課	農政課						
	備考		【H29】目標値を50%から52%へ修正(目標値達成見込みのため)。					

③農業生産基盤の整備

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
18	ほ場整備新規採択地区数 (県営ほ場整備(区画整理・水路・農道等の一体的な整備)事業の新規採択地区数)	—	目標値	—	—	新規1地区	—	—
		最終目標値	実績値	—	—	新規1地区		
		新規1地区	達成度	—	—	A(達成)		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成29年度は平成30年度の事業採択に向け、基礎調査、計画設計を行った。平成30年度は事業採択後、換地計画原案作成、地区界確定等を実施していく。						
	担当課	農政課						
	備考							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
19	農業水利施設の機能診断 ・保全計画策定数	7か所	目標値	9か所	12か所	12か所	—	—
		最終目標値	実績値	9か所	12か所	12か所		
	(市内水利施設に係る長寿命 化のための診断・保全計画の 延べ策定数)	12か所	達成度	A	A	A (達成)		
	平成29年度の取組と実績値 の分析及び今後の取組	平成24年度に北河原堰改修完了、平成30年度から宮前堰改修予定、平成26年度までに5つの堰（幕田堰、関沢堰、成田堰、五千石堰、蟹川堰）が保全計画策定、平成27年度には2つの堰（上台用水堰、細谷堰）が保全計画策定済となった。平成28年度に残る3つの堰（鯉沼堰、上吉田堰、関堀堰）の保全計画を策定し完了した。平成29年度には蟹川堰河川応急の実施計画に伴う調査を行った。平成30年度は、蟹川堰河川応急実施計画を作成予定。						
	担当課	農政課						
	備考							

基本目標② 「東京圏からの新しいひとの流れをつくる」

数値目標	基準値	実績値				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
転入者数	2,319人	2,309人	2,276人	2,412人		
【数値目標の説明】 合併以来9年間の転入者の平均が2,470人であるのに対し、直近の2年間は2,300人台で推移しているため、毎年度2%の転入者増を目標に、5年後、10%の転入者増を目指す。	目標値 2,550人	平成29年（1月～12月）の転入者は2,412人であり、昨年より136人増であった。				
数値目標	基準値	実績値				
東京圏からの転入者数	468人	479人	443人	455人		
【数値目標の説明】 直近5年間の東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）からの転入者数を勘案し、東京圏からの転入者数を増加させることを目標とする。	目標値 510人	平成29年（1月～12月）の東京圏からの転入者は455人であり、昨年より12人の増であった。				
数値目標	基準値	実績値				
観光入込客数	252万人	284万人	247万人	236万人		
【数値目標の説明】 市内観光施設・イベントへの来訪者数（観光庁の観光入込客数）。	目標値 277万人	平成29年（1月～12月）の観光客入込数は236万人で前年比95.4%であった。天平の花まつりは、20万4千人（前年比103.6%）と昨年より伸びたが、道の駅しもつけの入込数が197万人（前年比93.3%）と伸び悩んだため、全体では減となった。 【平成29年栃木県観光客入込数推定調査結果（平成29年1月～12月）より】				

(ア) 快適に住み続けられる住環境・緑環境・交通環境・水環境づくり	JR3駅を中心としたコンパクトなまちづくりによる住みやすい環境づくりを推進するとともに、うるおいのある緑・水辺の環境づくり、人に優しい交通環境づくり、安全で快適な水環境づくりを推進します。
-----------------------------------	--

①土地利用の推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
		年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
立地適正化計画策定 (都市再生特別措置法の改正に伴い策定する「コンパクトなまちづくり」を進めるための計画)	—	目標値	—	策定開始	策定	策定完了	—
	最終目標値	実績値	—	策定開始	策定		
	策定	達成度	—	A	A		
20	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	石橋駅周辺、自治医大駅周辺、小金井駅周辺の居住誘導区域素案を作成し、住民説明会を開催した。 平成30年度は、居住誘導区域を設定し、立地適正化計画全体の策定を完了する。					
担当課	都市計画課						
備考	最終目標値を「策定」することとしており、その具体的な年次目標を分かりやすく表記した。						
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
土地区画整理事業整備面積 (事業費ベース進捗率による整備面積)	467ha	目標値	471.7ha	473.7ha	478.6ha	482.9ha	493ha
	最終目標値	実績値	469.3ha	473.7ha	476.3ha		
	493ha	達成度	B	A	B		
21	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	仁良川地区土地区画整理事業区域内において、道路築造・宅地造成・公園整備・物件移転補償などを実施した結果、前年度比2.6ha増の476.3haとなった。今後も目標値である493ha達成のため、引き続き居住環境の向上と良好な宅地の供給を図り目標達成に向けて事業推進を図っていく。					
担当課	区画整理課						
備考							

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
		年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
地籍調査完了面積 (完了面積)	1.72 k m ²	目標値	2.19 k m ²	2.65 k m ²	4.98 k m ²	7.15 k m ²	8.01 k m ²
	最終目標値	実績値	2.19 k m ²	2.65 k m ²	5.48 k m ²		
	8.01 k m ²	達成度	A	A	A		
22	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>認証遅延地区の解消に重点的に取り組んだ結果、4地区2.83 k m²の登記が完了し、実績値が目標値を上回る結果となった。引き続き認証遅延地区の解消及び新規地区調査を予定しており、計画的に調査を進めていく。</p>					
	担当課	建設課					
	備考						

②住環境の整備

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
		年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
新規住宅取得者家庭菜園整備及び定住促進住宅新築等補助件数 (対象要件を満たす家庭菜園整備及び定住促進住宅新築等補助の件数)	—	目標値	0件	10件 (延10件)	20件 (延30件)	20件 (延50件)	20件 (延70件)
	最終目標値	実績値	—	5件 (延5件)	8件 (延13件)		
	延70件	達成度	—	C	D		
23	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>東京圏からの移住促進を図るための制度で、家庭菜園整備3件、住宅新築等補助5件の実績であった。目標は達成できなかったが、(一社)移住・交流促進機構などのサイトへの掲載や市内宅建業者への説明などを行った結果、事業の浸透は徐々に図られている。平成30年度は、すでに家庭菜園2件、住宅新築5件の申請が出ている状況である。今後とも移住促進を図るため引き続き効果的なPRを実施していく。</p>					
	担当課	都市計画課					
	備考	【H29】指標として「定住促進住宅新築等補助」を追加。					
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
		年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
生垣奨励金補助件数 (対象要件を満たす生垣設置に対する年間補助件数)	2件	目標値	5件	5件	5件	5件	5件
	最終目標値	実績値	3件	0件	0件		
	5件	達成度	C	D	D		
24	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>生垣奨励補助については、設置についての申請がなかった。土地区画整理事業地内で生垣を設置している家が見受けられることから、さらなる制度の周知が必要である。今後は、ブロック塀から生垣への変更、住宅新築補助とのセット利用など、制度活用を図っていく。</p>					
	担当課	都市計画課					
	備考						
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
		年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
木造住宅耐震診断及び耐震改修・建替補助件数 (木造住宅耐震診断事業・改修事業、耐震アドバイザー派遣事業の年間活用件数)	3件	目標値	4件	4件	4件	4件	4件
	最終目標値	実績値	1件	2件	8件		
	4件	達成度	D	C	A		
25	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>平成29年度から木造住宅耐震改修事業に耐震建替えについても補助対象となったため、実績が増えた。引き続き制度周知を図っていく。 耐震アドバイザー派遣事業 1件 耐震診断事業 5件 耐震建替え 2件</p>					
	担当課	都市計画課					
	備考	【H29】指標として「建替え補助」件数を追加。					

③公園・緑地・交通環境の整備、上下水道事業の推進

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
26	住民1人当たり都市公園面積 (市内の都市公園合計面積を 市内人口で除した面積)	13.54㎡	目標値	13.54㎡	13.54㎡	13.54㎡	13.54㎡	16.53㎡
		最終目標値	実績値	13.54㎡	13.71㎡	15.26㎡		
		16.53㎡	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値 の分析及び今後の取組	三王山ふれあい公園の全面供用開始により、前年と比較して面積が91,537㎡増加した。 平成30年度は、4月に仁良川地区土地区画整理地内の近隣公園である仁良川中央公園が供用 開始している。						
担当課	都市計画課							
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
27	新規公園整備・供用開始	—	目標値	—	—	新規1か所	—	—
		最終目標値	実績値	—	一部供用 開始	新規1か所		
		新規1か所	達成度	—	—	A (達成)		
	平成29年度の取組と実績値 の分析及び今後の取組	平成30年3月11日に三王山ふれあい公園の全部を供用開始した。 平成30年4月1日からは、(株)道の駅しもつけが指定管理者として管理運営を実施している。						
担当課	都市計画課							
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
28	公園施設長寿命化計画策定 (施設の健全度を把握する点 検調査、点検結果に基づく長 寿命化対策の計画書)	—	目標値	—	—	策定	—	—
		最終目標値	実績値	—	—	策定		
		策定	達成度	—	—	A (達成)		
	平成29年度の取組と実績値 の分析及び今後の取組	平成30年3月に、市内の都市公園56箇所を対象とした「下野市公園施設長寿命化計画」を策 定し、目標を達成した。 平成30年度は、長寿命化計画に基づき、国庫補助金を活用するための修繕計画を作成する。						
担当課	都市計画課							
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
29	道路改良率 (実道路延長に対する規格改 良済道路延長の割合)	64.0%	目標値	64.2%	64.4%	64.6%	64.8% 65.3%	65.0% 65.4%
		最終目標値	実績値	64.5%	64.6%	65.2%		
		65.0% 65.4%	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値 の分析及び今後の取組	一般市道、区画道路、農道等の整備促進により実績値が上昇した。 年度目標値は達成したが、既存道路や橋梁の老朽化が進んでいるため、今後は道路修繕費の 増加が見込まれ、道路改良率の伸びは緩やかなものとなる。						
担当課	建設課							
	備考	【H30：目標値修正(案)】目標値(65.0%)の達成につき、65.4%に上方修正する。						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
30	道路舗装率 (実市道延長に対する市道舗装済延長の割合)	86.3%	目標値	86.5%	86.7%	86.8%	86.9% 87.4%	87.0% 87.5%
		最終目標値	実績値	86.7%	86.8%	87.3%		
		87.0% 87.5%	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	一般市道、区画道路、農道等の整備促進により実績値が上昇した。年度目標値は達成したが、既存道路や橋梁の老朽化が進んでいるため、今後は道路修繕費の増加が見込まれ、道路舗装率の伸びは緩やかなものとなる。						
	担当課	建設課						
	備考	【H30：目標値修正（案）】目標値（87.0%）達成につき、87.5%に上方修正する。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
31	上水道普及率 (行政区域内人口に対する給水人口の割合)	97%	目標値	97.12%	97.14%	97.16%	97.18% 97.25%	97.2% 97.27%
		最終目標値	実績値	97.12%	97.14%	97.23%		
		97.2% 97.27%	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	未加入世帯に対し加入促進パンフレットを作成し訪問・配布を行った結果、普及率の向上が図られ、県内トップクラスの普及率となっている。今後も引き続き加入促進を図っていく。						
	担当課	水道課						
	備考	【H28】目標値を97.1%→97.2%に修正（目標値達成のため） 【H30：目標値修正（案）】目標値（97.2%）達成につき、97.27%に上方修正する。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
32	下水道普及率 (全体人口に対する下水道を利用できる人口割合)	75.4%	目標値	76.1%	76.8%	77.5%	78.2%	79.1%
		最終目標値	実績値	75.8%	76.3%	76.8%		
		79.1%	達成度	B	B	B		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	主に仁良川地区土地区画整理地内及び関根井笹原地区の下水道整備を実施した結果、普及率の向上が図られた。今後は、平成29年度末の事業計画変更により整備区域を拡大したことから、計画的に整備を進め、更なる普及率の向上に努める。						
	担当課	下水道課						
	備考							

(イ) 魅力あふれる『観光まちづくり』	「四季の自然と豊かな歴史・文化が薫る下野市」の環境をさらに磨いて、人が輝き、地域が輝くまちを創り、訪れた人がもう一度来たくなるまちを目指します。観光まちづくりを推進するため、観光プロモーションの推進、道の駅しもつけを核とした観光の創出、観光協会の充実・強化、観光施設の環境整備・充実に取り組むとともに、農工商連携等による下野ブランドの展開、新たな観光資源の開拓、広域観光の連携・推進に取り組みます。
---------------------	---

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
33	下野市観光協会 HPアクセス数 (観光協会ホームページの年間アクセス数)	13万2千件	目標値	13万5千件	14万1千件	20万件	20万5千件	21万件
		最終目標値	実績値	17万3千件	19万3千件	24万4千件		
		21万件	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	花まつり等の恒例イベントのほか、花畑景観事業、市外イベント等に出店し、協会及びホームページのPRを行った。3月末にホームページの全面リニューアルを実施し、内容の充実を図った。これにより、スマホで見られるようになったり海外からもアクセスできるようになった。 ご当地アニメ「サクラノチカイ」関連情報を求めるアクセスも増加したと考えられる。今後も記事更新を適時行い、アクセス数の増進を図る。						
担当課	商工観光課							
備考	【H29】目標値を15万5千件から21万件へ修正（目標値達成見込みのため）。							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
34	道の駅しもつけ利用者数 (買い物等の市内外の年間利用者数)	260万人	目標値	264万人	268万人	272万人	276万人	280万人
		最終目標値	実績値	253万人	237万人	228万人		
		280万人	達成度	B	B	B		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	菜の花&れんげ景観事業、みちのく山形物産展等、各種イベント等の実施による集客を図った。今後も利用者のニーズを考慮し、イベント等の実施により集客を図る。 利用者が減少傾向にあるが、駐車場の慢性的な混雑や、県内外での道の駅の新設が原因と思われる。駐車場については、現在は拡張への制限があることから、今後時期を見て対応を検討する。						
担当課	商工観光課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
35	地産地消イベント開催回数 (道の駅しもつけでの地産地消イベントの年間回数)	4回	目標値	4回	5回	5回	6回	6回
		最終目標値	実績値	5回	5回	5回		
		6回	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	道の駅しもつけで7月と1月に「かんびょうまつり」、10月に「大鍋まつり」、11月に「収穫祭」、3月に「創業祭」を開催した。今後も事業の継続・新規開拓を図る。						
担当課	商工観光課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
36	観光自転車利用者数 (市内5か所に設置したレンタサイクルステーションでの観光自転車年間利用者数)	632人	目標値	900人	1,000人	1,600人	1,900人	2,000人
		最終目標値	実績値	905人	1,469人	1,308人		
		2,000人	達成度	A	A	B		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	オアシスポップ館、自治医大駅、石橋駅、道の駅しもつけ、夜明け前に加え、10月から三王山ふれあい公園において観光自転車の貸出しを行った。3月より、二次交通の強化を図るため、電動アシスト自転車18台を新たに導入し、利用者の利便性を高めた。 今後も引き続き観光自転車のPRを実施する。						
担当課	商工観光課							
備考	【H29】目標値を700人から2,000人へ修正（目標値達成見込みのため）。							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
37	オアシスポッポ館利用者数 (「オアシスポッポ館」の年間利用者数)	8,396人	目標値	8,577人	8,758人	8,938人	9,119人	9,300人
		最終目標値	実績値	9,619人	8,352人	8,023人		
		9,300人	達成度	A	B	B		
	平成29年度の実績と今後の取組	インフォメーションセンターとして市内外の情報発信をし、多目的ホールの貸出しを行った。 観光協会が館内に移転し、観光情報の提供体制が充実したため、観光インフォメーションを中心に情報発信していく。						
担当課	商工観光課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
38	下野ブランド認定件数	24件	目標値	27件	30件	34件	37件	40件
		最終目標値	実績値	28件	32件	34件		
		40件	達成度	A	A	A		
	平成29年度の実績と今後の取組	下野ブランドの募集を行い、新規ブランド2件を新規認定した。 今後は、下野ブランド力強化事業費補助金制度を活用し、ブランドのブラッシュアップを図る。						
担当課	商工観光課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
39	本場結城紬展示会開催回数	年1回	目標値	1回	1回	1回	1回	1回
		最終目標値	実績値	1回	3回	2回		
		毎年開催	達成度	A	A	A		
	平成29年度の実績と今後の取組	10月1日にしもつけブランドフェアにおいて、パネル展示を行った。 2月10～11日に南河内公民館まつりで展示・実演・体験を行った。 今後も、南河内公民館まつりにて展示・実演・体験を行う。						
担当課	商工観光課							
備考		【H29】事業の継承が難しい状況に鑑み、より適切な項目のKPIとするため、「雇用・就業機会の拡充」という項目から、「魅力あふれる『観光まちづくり』」の項目へと移動 (No11→No39)。						

(ウ) 交流の促進とシティプロモーションの推進	都市部住民と農村部住民の交流を促進し地域活性化を図るとともに、本市の強みである充実した自然環境・交通環境・居住環境・医療環境などの住みよさ及び魅力を市内外に発信することにより本市への新たな人の流れをつくるために、新たな交流拠点の整備及び更なる交流促進のための事業展開を図るとともに、パーソナルロボットを導入・活用しシティプロモーション事業等をより積極的に展開します。
-------------------------	---

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
40	パーソナルロボットイベント参加回数 (東京圏を中心に行うイベントへの参加回数)	—	目標値	5回 (延5回)	10回 (延15回)	12回 (延27回)	12回 (延39回)	延50回以上
		最終目標値	実績値	4回 (延4回)	12回 (延16回)	12回 (延28回)		
		延50回以上	達成度	B	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	東京シティエアターミナルなど東京圏をはじめとした市外イベントでのPR活動だけでなく、市内の図書館で開催された「こどもまつり」などでは市内の子どもたちとのふれあいを行い、全国から関係者が集まる自治医科大学で開催された学会の会場ではお出迎えを行った。また、ツイッターでの情報発信にも力を入れ、アニメ「サクラノチカイ」に関する情報は、1万回以上の閲覧数を超えるものもあった。 小中学校で行われているパーソナルロボットを使ったプログラミング授業では、市内でプログラムコンテストを開催。そこで優勝し、全国大会に出場した南河内第二中学校が、中学生部門において銀賞（全国2位）に輝いた。 今後も、市のPRや情報発信について積極的な活用を図る。						
担当課	総合政策課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
41	都市農村交流施設整備数 (石橋地区に開設予定の施設整備数)	—	目標値	—	新規1か所	新規1か所	—	—
		最終目標値	実績値	—	新規1か所	新規1か所		
		新規1か所	達成度	—	A	A(達成)		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成29年度は、予定通り石橋地区都市農村交流施設整備が完了した。						
担当課	農政課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
42	体験農園の設置数	1か所	目標値	1か所	2か所	—	—	—
		最終目標値	実績値	1か所	2か所	—		
		2か所	達成度	A	A(達成)	達成済		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	市民農園及び石橋地区都市農村交流施設（ゆうがおパーク）の2か所に設置済みである。今後も市民のニーズを研究していく。						
担当課	農政課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
43	農産物加工体験施設の設置数 (農産物加工センター等の設置数)	3か所	目標値	3か所	4か所	4か所	4か所	4か所
		最終目標値	実績値	3か所	4か所	4か所		
		4か所	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	既存の3加工センターに加え石橋地区都市農村交流施設（ゆうがおパーク）の4か所に設置済みである。 今後は現在の4か所を軸として農産物の加工体験を行っていく。						
担当課	農政課							
備考								

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
44	体験農園のイベント開催回数	1回	目標値	2回	3回	3回	3回	3回
		最終目標値	実績値	3回	5回	4回		
		3回	達成度	A	A	A		
	平成29年度の実績と実績値の分析及び今後の取組	平成29年度は、市民農園及び石橋地区都市農村交流施設（ゆうがおパーク）において、里芋の収穫、田植え、稲刈り、ダイコン掘りなどの体験イベントを行った。今後も市民のニーズに合った体験プログラムを取り入れていく。						
担当課	農政課							
備考								

基本目標③ 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

数値目標	基準値	実績値				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
下野市で今後も子育てをしていきたいと思う保護者の割合	95.4%	95.5%	96.9%	96.9%		
【数値目標の説明】 乳幼児健康診査のアンケート調査において実施。	目標値	目標値を上回る結果であった。 ※乳幼児健康診査のアンケート調査における「この地域で、今後も子育てをしていきたいですか」という問いに対して「そう思う」もしくは「どちらかといえばそう思う」と回答した割合。				
	96.0%					
数値目標	基準値	実績値				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
合計特殊出生率	1.41	—	—	—		
【数値目標の説明】 人口ビジョンの将来展望の短期的目標で示した合計特殊出生率の向上を目指す。	目標値	平成29年の人口動態統計（概数）における合計特殊出生率（厚生労働省） 全国平均1.43 栃木県1.45（全国34位） 【平成28年 全国平均1.44 栃木県1.46（全国35位）】				
	1.60					

(ア) 子どもを健やかに産み育てる環境整備	子どもが健やかに成長し、生涯を通じて健康に過ごすためには、出産前からの支援と出産後の早期からの相談や健診の充実など、妊産婦や子育て中の保護者を地域で見守り、支える環境整備を推進します。
-----------------------	--

①妊娠・出産への支援

重要業績評価指標（KPI）		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
45	両親学級参加率 <small>（妊娠・出産・育児等に関する学級の妊婦と家族の参加率）</small>	45.0%	目標値	47.0%	50.0%	55.0%	58.0%	60.0%
		最終目標値	実績値	45.70%	58.7%	60.1%		
		60.0%	達成度	B	A	A		
	平成29年度の実績と今後の取組の分析及び今後の取組	平成29年度に本市で赤ちゃん訪問を受けた市民の産婦（457名）の内、これまでに市または病院で両親学級に参加した人は60.1%（275名）であった。また、市主催の両親学級での父親の参加率は、54.7%であり、半数の人が夫婦で参加している。両親学級を受けていない人に対しては、個別での支援で対応している場合がほとんどである。 平成29年度は両親学級の見直しを行い、産後の生活についてイメージが付きやすい内容にしたので、今後は教室の内容の評価を実施していく。						
	担当課	健康増進課						
	備考	【H28】指標を「参加数」から「参加率」へ変更（目標値を280組から60.0%へ変更）。 【H29】今回または前回の妊娠中に市または病院の両親学級に参加した人を本市で赤ちゃん訪問を受けた市民の産婦数で除した数。						
重要業績評価指標（KPI）		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
46	不妊治療助成件数 <small>（保険対象外となる不妊治療及び不育症治療を受けた方への治療費の一部助成の年間件数）</small>	100件	目標値	102件	104件	106件	108件	110件
		最終目標値	実績値	125件	123件	127件		
		110件	達成度	A	A	A		
	平成29年度の実績と今後の取組の分析及び今後の取組	前年度から4件増であり、助成利用状況については達成度が維持されている。現在の助成要件を変更しない限り、年度目標値を超える状況は今後も続くものと思われる。引き続き市民への周知を図り、要件を満たす者の申請漏れを防ぎつつ、他市町村の動向や取り組みと比較していく。						
	担当課	健康増進課						
	備考							

②子どもや母親の健康の確保

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
47	乳幼児健康診査対象児の状況把握の割合 (乳幼児健康診査対象児の受診促進及び未受診者の状況把握)	100%	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
		最終目標値	実績値	100%	100%	100%		
		100%	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	乳幼児健診受診率98.9%で、乳幼児健診未受診は虐待リスクとなるため個別の対応により養育状況を確認している。対象者の中には、身体的疾患により入院中、または住民登録を残したまま海外へ居住を移している児も含まれており100%には達していない。 いずれの理由についても、医療機関や保護者、親族等から確認を行う等して対象者全数を把握している。 なお、転入者についても転入手続きの際に母子手帳等で受診状況を確認し未受診者には受診勧奨したり、受診後フォローが必要なケースについては継続して支援している。						
担当課	健康増進課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
48	任意予防接種助成制度新規事業数 (任意予防接種における市独自助成制度事業数)	—	目標値	2	1	—	1	—
		最終目標値	実績値	2事業開始	1事業開始	—		
		新規2事業	達成度	A	A	—		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成29年度は、子どものインフルエンザ予防接種の助成、及び骨髄移植等により過去の定期接種の効果が消失した方への助成の実施に向けて検討を重ねた。平成30年度実施のため、周知を図り広く事業の活用を市民及び医療機関に促していきたい。また、引き続き助成対象外の任意予防接種について、国や学術団体の動向をチェックしながら事業化の検討をしていく。						
担当課	健康増進課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
49	保育園・幼稚園等での食育教室実施回数 (下野市食育推進計画に基づく実施箇所数)	8か所	目標値	9か所	9か所	10か所	10か所	10か所
		最終目標値	実績値	16か所	16か所	18か所		
		10か所	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成29年度は、乳幼児対象168名、保護者対象236名に保育園等で食育啓発活動及びアンケートを実施した。アンケート結果より、「教室に参加し生活に取り入れられそうなことはありましたか」という項目に対し97.4%が「あった」、そのうち51.4%が嗜好品の摂り方・塩分の摂り方について「参考になった」と回答。平成30年に策定した第3次しもつけ21プランに沿って減塩の推進に取り組んでいく。 平成30年度も引き続き対象者のニーズに沿った教室を実施していくとともに、教室終了後には個別に相談できる機会を作り、臨機応変に対象者の悩みの解決に務める。						
担当課	健康増進課							
備考								

③育児不安の軽減と虐待防止への支援

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
50	こんにちは赤ちゃん全戸訪問事業・把握率 (生後4か月までの子どもを持つ家庭への助産師・保健師の訪問及び状況把握)	100%	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
		最終目標値	実績値	100%	100%	100%		
		100%	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	【こども福祉課】 訪問対象者数に対しての把握率で、訪問拒否や入院中で訪問できないケースもありますが、養育状況は確認できているため全ケース把握している。そのため、ハイリスクなケースについては、早期に介入できており適切な支援につながっている。 【健康増進課】 把握率は平成29年度訪問対象者数(出生数)456人に対する数値である。疾患等により、対象児が入院中のため訪問できないケースもあるが、電話や医療機関との連携により養育状況は確認出来ているため、全対象について状況を把握している。ハイリスクケースについては、担当保健師につなぎ、早期介入している。平成30年度より全対象に対して、産後2週間電話相談を実施することとしている。産後2週間と言う早期の段階での介入をすることで、産後不安定な時期のサポートにつなげていきたい。						
担当課	こども福祉課 健康増進課							
備考								

(イ) 心身ともに健やかな子どもの育ちを支える取組の推進	市民一人ひとりが自分を大切に思い、人を大切に思う心を育み、また、自分がかげがえのない存在であることを実感するなど、次代の親としての成長を支援する取組を推進します。
------------------------------	---

①思春期の心身の健康づくり

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
51	思春期講座開催小中学校数	—	目標値	15小中学校	15小中学校	15小中学校	15小中学校	16小中学校 15小中学校
		最終目標値	実績値	15小中学校	15小中学校	15小中学校		
	(関係機関が連携した小中学校での思春期講座の開催)	16小中学校 15小中学校	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	市内小中学校は全部で16校であるが、小規模校2校は隔年実施のため全校実施の場合は15校となる。平成28年度に、実施内容に関するアンケートを行い、健康増進課で必要と考える講座内容と学校の求める内容がほぼ合致していることが確認できたため、平成29年度も例年通り実施した。また、講座内で視聴するDVDについては、小学校・中学校で別のものを流し、発達段階に合わせた内容で実施している。今後は、中学校2年生で行われる自殺対策講座の内容と関連付けて実施していく。						
	担当課	健康増進課						
	備考	【H30：目標値修正(案)】国分寺西小学校が平成31年度に国分寺小学校に統合され、市内全学校数が15小中学校になるため、目標値を16小中学校から15小中学校へ変更する。						

②豊かな子どもをはぐくむ地域力の向上

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
52	児童館利用者数	30,061人	目標値	30,500人	30,750人	31,000人	31,500人	31,500人
		最終目標値	実績値	25,632人	26,192人	25,870人		
	(児童館の年間利用者数)	31,500人	達成度	B	B	B		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	「地域とともに歩む児童館」として3世代交流や地域内の交流を推進する事業に取り組んできた。今後も、地域と密着した児童館の定着に努め、身近な子育て支援施設として推進を図っていく。						
	担当課	こども福祉課						
	備考							

③親育ちへの支援

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
53	両親学級参加率 (再掲：45)	45.0%	目標値	47.0%	50.0%	55.0%	58.0%	60.0%
		最終目標値	実績値	45.70%	58.7%	60.1%		
	(妊娠・出産・育児等に関する学級の妊婦と家族の参加率)	60.0%	達成度	B	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成29年度に本市で赤ちゃん訪問を受けた市民の産婦(457名)の内、これまでに市または病院で両親学級に参加した人は60.1%(275名)であった。また、市主催の両親学級での父親の参加率は、54.7%であり、半数の人が夫婦で参加している。両親学級を受けていない人に対しては、個別での支援で対応している場合がほとんどである。 平成29年度は両親学級の見直しを行い、産後の生活についてイメージがしやすい内容にしたので、今後は教室の内容の評価を実施していく。						
	担当課	健康増進課						
	備考	【H28】指標を「参加数」から「参加率」へ変更(目標値を280組→60.0%へ変更) 【H29】今回または前回の妊娠中に市または病院の両親学級に参加した人を本市で赤ちゃん訪問を受けた市民の産婦数で除した数。						

(ウ) すべての子育て家庭を応援する体制の充実	利用者の視点に立ってきめ細やかなサービスの提供・確保はもとより、母親だけでなく父親も仕事と子育てが両立できる環境づくりを推進し、また、それらの支援等を必要とする人が、適切にサービス等を利用できるよう、情報提供や交流、相談支援等を通じた周知・啓発に取り組みます。
-------------------------	--

①教育・保育及び子育て支援事業の充実

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
54	放課後児童クラブ 実施箇所数	13か所	目標値	13か所	13か所	13か所	14か所	14か所
		最終目標値	実績値	13か所	13か所	13か所		
		14か所	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成29年度から、国分寺東児童館学童保育室は国分寺東小学童保育室に機能移転となり、学校敷地内での安全・安心な保育ができるようになった。 平成30年度は、国分寺地区の利用者増について、駅西児童館等の増改築により保育室の環境の充実に努める。また、国分寺西小学校廃校及び南河内中学校区義務教育学校整備に伴う学童保育室の在り方について検討していく。						
	担当課	こども福祉課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
55	待機児童数 (入所要件を満たすにもかかわらず施設に入所できない児童の数)	1人	目標値	0人	0人	0人	0人	0人
		最終目標値	実績値	0人	0人	0人		
		0人	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成29年4月1日時点での待機児童は発生していない。入所要件の緩和により保育の需要は今後も増加することが予想される。平成30年度には薬師寺幼稚園が保育所部分を整備し、平成31年度から認定こども園になる予定であり、待機児童の減少につながるものとする。今後も公立保育園の保育士の確保並びに認定こども園の更なる施設整備等を推進し、待機児童の減少に努める。						
	担当課	こども福祉課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
56	認定こども園数 (教育・保育を提供する機能を併せ持つ施設の数)	4か所	目標値	4か所	5か所	5か所	6か所	6か所
		最終目標値	実績値	4か所	5か所	5か所		
		6か所	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成29年度末は目標のとおり5か所であった。平成30年度に薬師寺幼稚園が保育所部分を整備し、平成31年度から認定こども園になる予定である。今後も市民のニーズを把握しそのニーズに応えることができるよう努める。						
	担当課	こども福祉課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
57	休日保育事業実施園数	1か所	目標値	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
		最終目標値	実績値	2か所	2か所	2か所		
		2か所	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成29年度は2か所で実施している。市民に対し各施設ホームページ及び市ホームページにおいて周知を図ったところである。なお、市民のニーズに対して受け皿は充足している。今後も利用者のニーズを的確に把握し事業を実施していく。						
	担当課	こども福祉課						
	備考							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
58	夜間保育事業実施園数	—	目標値	—	—	—	—	1か所
		最終目標値	実績値	—	—	—		
		1か所	達成度	—	—	—		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>夜間の預りについては、ファミリー・サポート・センターの利用により対応している。引き続き利用者のニーズの把握に努める。 【ファミリー・サポート・センター利用人数（夜間保育）：0人】</p>						
	担当課	こども福祉課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
59	乳児保育事業実施園数	12か所	目標値	12か所	13か所	13か所	13か所	13か所
		最終目標値	実績値	12か所	13か所	13か所		
		13か所	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>平成29年度末において13か所で実施している。平成30年度に薬師寺幼稚園が保育所部分を整備し、平成31年度から認定こども園になり14か所になる予定である。今後も市民のニーズに応えることができるように努める。</p>						
	担当課	こども福祉課						
	備考							

②子育てに関する情報・相談・交流の充実

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
60	児童館の整備箇所数	—	目標値	—	—	—	—	1か所
		最終目標値	実績値	—	—	—		
		1か所	達成度	—	—	—		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>石橋地区に複合施設としての児童館の整備を検討しているが、平成28年度は石橋児童館の老朽化に伴う閉館のため、こどもの広場いしばしを開設して対応してきた。整備が具体化した場合は、地域全体の子育て拠点として、子どもたちが安全・安心に利用できる児童館の整備に努める。</p>						
	担当課	こども福祉課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
61	子育て応援HP「ママフレ」アクセス数 (「ママフレ」の年間アクセス数)	22,400件	目標値	22,840件	23,280件	23,720件	24,160件	24,600件
		最終目標値	実績値	18,224件	15,858件	11,536件		
		24,600件	達成度	B	C	D		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>子育てに関する情報発信の一つとして「ママフレ」を活用し、市の子育て支援事業の提供を行った。市HPのトップにバナーを貼ったり健診時にチラシを配布するなど周知を図ったが、制度そのものの認知が進んでいることもあり、アクセスは伸びなかったと考えられる。今後は、乳幼児健診や親子教室時等でアンケートを実施し、制度の発信だけでなく、子育て世代が求める機能（例えば電子母子手帳や予防接種の記録管理等のアプリ）の追加を検討する。</p>						
	担当課	こども福祉課						
	備考							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
62	利用者支援事業実施箇所数 (子ども・子育て支援に関する相談援助、情報提供を行う窓口設置箇所数)	—	目標値	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
		最終目標値	実績値	1か所	1か所	2か所		
		1か所	達成度	A	A	A		
	平成29年度の実績と実績値の分析及び今後の取組	<p>【こども福祉課】 子育て支援センターや児童館、乳幼児健診会場やこども園等での親子教室に出向き、利用者支援事業の周知や市民からの情報収集に努めた。今後は窓口での入園相談や待機児童の保護者へのフォローに努める。</p> <p>【健康増進課】 妊娠期から子育て期にわたる支援を切れ目なく提供するために、平成29年4月1日健康増進課内に「下野市子育て世代包括支援センター」を設置した。また、母子保健コーディネーターとして、保健師・助産師を配置し、妊娠・出産・育児に関する相談支援、関係機関との連絡調整、支援プランの策定を行った。 今後も子育て世代包括支援センターのPRを継続し、関係機関との連携強化を図る。</p>						
担当課	こども福祉課 健康増進課							
備考								

②ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた支援

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
63	職場での男女平等について、募集や採用において「平等になっている」と回答する人の割合 (男女共同参画プラン策定時アンケート調査において実施)	51.9%	目標値	—	—	—	—	57.0%
		最終目標値	実績値	—	—	—		
		57.0%	達成度	—	—	—		
	平成29年度の実績と実績値の分析及び今後の取組	※アンケートは次期男女共同参画プランの策定にあわせて実施する(平成31年度実施予定)。						
担当課	市民協働推進課							
備考								

(エ) 多様な「出会い」の支援	コミュニケーションスキル等の学習の場を提供するとともに、市民団体等と連携し、「出会い」の場の創出・支援に取り組みます。
-----------------	---

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
64	婚活に関する スキルアップ事業数 (生涯学習による婚活支援事業数)	—	目標値	—	—	1事業	1事業	1事業
		最終目標値	実績値	—	—	1事業		
		1事業	達成度	—	—	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組 担当課：生涯学習文化課 備考	平成29年度は『自分魅力アップ講座』と題し、婚活に役立つようなマナーやコミュニケーション力をアップさせるための方法を身につけるための講座を1事業開催した。次年度も継続して実施していく。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
65	婚活支援事業数 (市民が主体となり実施する婚活イベント等事業数)	1事業	目標値	2事業	3事業	3事業	3事業	3事業
		最終目標値	実績値	2事業	3事業	3事業		
		3事業	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組 担当課：市民協働推進課 総合政策課 備考	【市民協働推進課】 石橋ライオンズクラブ：6/18開催 男女各17名参加 7組カップリング（市民活動補助事業） 下野ライオンズクラブ：計画はしていたが実施せず。H30年度以降は開催未定。 小山地区定住自立圏共催事業として婚活セミナー：2/24開催 25名参加（含下野市民男女各1）H30年度も開催見込 【総合政策課】 下野市・上三川町・壬生町連携会議において、新たな人の流れを生み出す1市2町連携プロジェクト事業として、東京圏からの女性を呼び込む連携婚活バスツアーを3回実施した。 平成29年度実施の参加者アンケート結果を踏まえ、次年度の婚活支援事業に反映させ、さらに魅力ある事業となるよう調整しながら実施していく。						

基本目標④ 「安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる」

数値目標	基準値	実績値				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
幸せだと感じている市民の割合	75.0%	—	—	—		
【数値目標の説明】 市民意識調査における「幸福感」の項目で、幸せだと感じていると回答した人の割合。	目標値	意識調査は平成31年度実施予定				
	78.0%					
数値目標	基準値	実績値				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
住みやすいと感じる市民の割合	84.0%	—	—	—		
【数値目標の説明】 市民意識調査における「下野市について」の項目で、住みやすい・どちらかといえば住みやすいと回答した人の割合。	目標値	意識調査は平成31年度実施予定				
	87.0%					

(ア) いきいき暮らせる健康づくり	充実した医療環境を活かし、市民一人ひとりが健康に暮らせるまちづくりのため、各種がん検診や、保健福祉センター（きらら館・ゆうゆう館）、福祉センター（ふれあい館）を活用した事業などを総合的に展開した予防対策を積極的に推進し、また良好な救急医療体制を維持確保するため、一次・二次・三次の機能分化を促進するとともに「かかりつけ医」の普及啓発を推進します。
-------------------	---

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
		年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
66 がん検診の受診率 (子宮頸がんを除く) (各種がん検診(胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん)の受診率)	35.7%	目標値	38.0%	41.0%	43.0%	47.0%	50%以上 (乳がん60%以上)
	最終目標値	実績値	38.0%	40.9%	41.1%		
	50%以上 (乳がん60%以上)	達成度	A	B	B		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	受診率は胃がん21.1%、肺がん50.8%、大腸がん52.8%、乳がん(40歳以上)38.0%、乳がん(35~39歳)49.6%でがん検診全体では41.1%の受診率であった。前年度から受診率は向上しているが、目標値に届かなかった。今後は受診勧奨の方法を検討する等目標値を達成できるよう努めていきたい。					
担当課	健康増進課						
備考							
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
		年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
67 健康づくり施設利用者数 (ゆうゆう館・きらら館・ふれあい館の年間利用者数)	25万8千人	目標値	25万8千人	26万5千人	27万3千人	28万人	28万8千人
	最終目標値	実績値	29万5千人	30万1千人	29万2千人		
	28万8千人	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	きらら館の利用者数は指定管理により前年度より増となったが、ゆうゆう館、ふれあい館は改修工事のため休館期間があったことから利用者数が前年度より減となった。全体的には目標値は超えている。今後も指定管理者と連携しながら利用者増に努める。 ■延べ利用者数 ゆうゆう館 155,411人 ふれあい館 89,091人 きらら館 47,640人					
担当課	社会福祉課						
備考							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
68	健康づくりへの取組の満足度	4	目標値	—	—	—	—	5
	(第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1~5の数値で数値化したもの)	最終目標値	実績値	—	—	—		
		5	達成度	—	—	—		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>【意識調査は平成31年度実施予定。】</p> <p>平成29年度、健康しもつけ21プラン（第3次下野市健康増進計画）を策定。下野市は、脳血管疾患の標準化死亡比が基準値（全国を100）を上回る状況が続いているため、重点目標を「脳血管疾患の罹患者を減らす」とし、今後各保健事業で取り組んでいくこととした。健康づくりのきっかけとなる、健康マイレージ事業については、取り組みやすさを考慮し、対象事業の見直しを図ったところ、参加者が平成28年度86名から平成29年度326名に増加。今後も記念品等の充実化を図り、健康しもつけ21プランに沿った、更なる市民の健康づくりの動機付け及び運動習慣の定着化を目指す。</p>						
担当課	健康増進課							
	備考							

(イ) 高齢者が元気で暮らせる体制づくり	高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らすことができるまちづくりを推進するため、自分らしい暮らしを人生の最後まで安心して続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指すとともに、高齢者が生きがいを持って地域社会とかわることができるよう、介護予防や生活支援を推進し、介護サービス基盤の整備を進め、心身の状況や生活環境に応じたサービスの充実を図ります。
----------------------	---

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
69	地域ふれあいサロンの設置数 (地域ボランティアによる地域ふれあいサロン)	14か所	目標値	16か所	17か所	19か所	21か所 28か所	23か所 34か所
		最終目標値	実績値	14か所	16か所	26か所		
		23か所 34か所	達成度	B	B	A		
	担当課	高齢福祉課	<p>地域包括支援センターとの連携のもと、しもつけ元気はつつ体操の普及に努めた。しもつけ元気はつつ体操の継続活動の場および普及の場として地域ふれあいサロンが多く立ち上がった。</p> <p>また、スポーツ活動や教養に焦点を当てた活動を行う地域ふれあいサロンも出てきたことにより全体としての設置数の増加につながった。地域活動の盛んな地域での設置数は伸びているが、依然として地域差が大きい。設置がない地域への継続した働きかけが必要となる。今後は、高齢者の交流の場として、また、栄養や口腔ケア等の健康教育をととした健康維持・介護予防の場としても機能するよう進める予定である。</p>					
備考	【H30：目標値修正（案）】高齢者保健福祉計画（第7期：平成30年度～平成32年度）にあわせ、目標値を23か所から34か所へ上方修正。							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
70	認知症地域支援推進員の配置数 (基幹型を含む各地域包括支援センターへの配置)	1か所	目標値	3か所	4か所	4か所	4か所	4か所
		最終目標値	実績値	3か所	4か所	4か所		
		4か所	達成度	A	A	A		
	担当課	高齢福祉課	<p>平成29年度は、市内3か所の地域包括支援センター職員3名及び基幹型包括支援センター職員1名が認知症地域支援推進員研修を受講した。その結果、各地域包括支援センターの職員9名と基幹型包括支援センター職員2名の計11名が地域支援推進員として配置されている。今後も、研修受講については継続していく。</p> <p>認知症地域支援推進員会を定例的に開催し、市の認知症施策の課題を明確化し、その対策を検討している。</p>					
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
71	認知症サポーター数 (認知症サポーター養成講座の延べ参加者数)	2,085人	目標値	660人 (延2,745人)	670人 (延3,415人)	1,020人 (延6,000人)	800人 (延6,800人) 1,000人 (延7,000人)	800人 (延7,600人) (延7,800人)
		最終目標値	実績値	1,513人 (延3,628人)	1,352人 (延4,980人)	1,129人 (延6,109人)		
		延7,600人 延7,800人	達成度	A	A	A		
	担当課	高齢福祉課	<p>平成29年度は、市民をはじめ、小中学校、大学、自治会等に加え、市内高校・介護施設でも初めて認知症サポーター養成講座を実施した。その結果、計28回開催し、1,129名の認知症サポーターが新たに誕生し、延べ6,109名となった。また、希望者を対象に「認知症ステップアップ講座」を開催、認知症グループホームでの体験実習等も実施し、修了者は「シルバーサポーター」として登録、市の認知症施策のボランティアとして活動していただいている。</p>					
備考	<p>【H28】目標値4,000人から5,455人へ上方修正。 (高齢者保健福祉計画より早く目標達成ができるため)</p> <p>【H29】目標値5,455人から7,600人へ上方修正 (目標値達成見込みのため)</p> <p>【H30：目標値修正（案）】目標値を延7,600人から延7,800人に上方修正。</p>							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
72	高齢者福祉の取組の満足度 (第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1~5の数値で数値化したもの)	3	目標値	—	—	—	—	4
		最終目標値	実績値	—	—	—		
		4	達成度	—	—	—		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>地域包括支援センターの機能強化を図り、地域包括ケアシステムの推進に向けて事業を展開している。</p> <p>また、高齢者見守りネットワーク拡大のため、平成29年度は株式会社道の駅しもつけと高齢者見守りネットワーク協定を締結した。これにより市内37か所の事業所による見守り体制が整備された。引き続き高齢者見守りネットワークの拡大に努め、さりげない見守り体制の強化を図る。</p>						
担当課	高齢福祉課							
備考								

(ウ) 障がい者(児)とともに生きる環境づくり	障がい者(児)が地域で自立した生活を送ることができる環境づくりを推進するため、障がいのある人の相談の場の確保、日常生活や地域生活の支援などの充実を図るため、障害福祉サービス事業所との連携を強化します。また、育成医療、更生医療などの自立支援医療の給付や重度心身障がい者(児)医療費助成を引き続き実施します。さらに障がいのある児童については、個々の障がいの状況や特性に応じた適切な療育や保護者への総合的な相談を行うとともに、保育、幼稚園及び学校関係との連携による支援の充実を図ります。障がいのある人が不当な差別的取扱に受けることがないように合理的配慮をしていくとともに、下野市障がい者福祉計画に基づき、障がいのある人もない人とともに生きる環境の実現を目指します。
-------------------------	---

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
73	指定特定相談支援事業所数	5か所	目標値	5か所	6か所	7か所	7か所	7か所
	(障がい者(児)が福祉サービスを利用するため利用計画作成等の支援を行う相談支援事業所)	最終目標値	実績値	5か所	5か所	5か所		
		7か所	達成度	A	B	C		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	市内の事業所で計画相談を実施していない事業所に対し、市相談支援センターと連携しながら促しをしている。これにより、平成30年4月にツバキヤ、社会福祉協議会の2事業所がすでに開設済みであり、平成30年度に目標値である7か所を達成する見込みである。						
	担当課	社会福祉課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
74	就労系サービス利用者数	93人/月	目標値	137人/月	140人/月	140人/月	140人/月	140人/月
	(就労移行支援、就労継続支援(A型)、就労継続支援(B型)の年間実利用者の月平均人数)	最終目標値	実績値	147人/月	148人/月	148人/月		
		140人/月 170人/月	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	職員のほか市障がい者相談支援センターの相談支援専門員2名が相談対応を行い、関係機関との連携を図るなど相談体制の強化を図ったことから、前年度と同程度の就労系サービスを提供することができた。						
	担当課	社会福祉課						
	備考	【H30：目標値修正(案)】第5期下野市障がい者福祉計画との整合性を図り、目標値を140人/月から170人/月へ上方修正。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
75	障がい者福祉の取組の満足度	3	目標値	—	—	—	—	4
	(第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	最終目標値	実績値	—	—	—		
		4	達成度	—	—	—		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成28年4月1日に施行された障害者差別解消法に基づき、差別に関する相談や差別解消のための取り組みを円滑に行うため、障がい者差別解消地域協議会設置要綱を策定した。相談窓口の設置(市社会福祉課、市障害者相談支援センター)。今後も、障がいのある人も、ない人も共に生きる社会を目指し事業を進めていく。						
	担当課	社会福祉課						
	備考							

(エ)誰もが安心して暮らせるまちづくり	<p>地域で助け合い安心して暮らすことのできる地域福祉づくりを推進するため、地域における多様な福祉課題については、社会福祉協議会や民生委員児童委員との連携を図るとともに市民の意識啓発を図ります。また、市民の地域活動の状況や福祉ニーズについて総合的かつ計画的に対応するため地域福祉の充実を図ります。</p> <p>生活困窮者への相談支援や高齢者への適切なサービスの提供、さらに市民全体の健康増進を推進するため、市民ボランティアや関係機関との連携を図り適切な福祉サービスの充実を図ります。</p> <p>国民健康保険や後期高齢者医療においては、特定健診未受診対策など市民の健康維持を推進し、運営の健全化、医療費の適正化に向けた総合的な取り組みを実施します。</p>
---------------------	--

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
76	民生委員・児童委員の活動件数 (地域社会の実態の把握、相談支援件数)	4,800件	目標値	4,800件	5,000件	5,200件	5,400件	5,500件
		最終目標値	実績値	5,302件	4,632件	5,052件		
		5,500件	達成度	A	B	B		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	年度目標値には届かなかったが、委員任期2年目ということで、前年度より見守り件数は増加した。今後も民生委員・児童委員としての活動を推進していく。						
	担当課	社会福祉課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
77	低所得者への自立に向けた支援(自立促進)数 (就労支援等を行い、就労し自立を図った世帯の数)	5世帯	目標値	7世帯	9世帯	11世帯	13世帯	15世帯
		最終目標値	実績値	11世帯	11世帯	12世帯		
		15世帯	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	就労支援員との連携協力等により、年度目標を超える実績となった。今後も低所得者等の自立に向け、就労支援等を利活用した取り組みに努める。						
	担当課	社会福祉課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
78	人間ドック受診率 (対象者：30歳～75歳未満)	4.0%	目標値	4.0%	4.2%	4.4%	4.6%	5.0%
		最終目標値	実績値	3.9%	4.0%	4.2%		
		5.0%	達成度	B	B	B		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	国民健康保険被保険者の人間ドック助成事業について、市ホームページや広報4月号に掲載し、制度の普及・啓発に努めた。その結果、年度目標値に近い実績値となり、成果を出すことができた。平成30年度も引き続き市ホームページ等で周知を行い、受診率の向上に努める。						
	担当課	市民課						
	備考							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
79	特定健康診査受診率 (対象者：40歳～75歳未満)	39.0%	目標値	52.2%	56.1%	60.0%	60.0% 47.0%	60.0% 50.0%
		最終目標値	実績値	42.7%	43.0% 44.7%	45%		
		60.0% 50.0%	達成度	B	C	C		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>平成29年度は特定健康診査の受診率向上を目指し、不定期受診者や未経験者（過去に一度も受診していない方）を対象に、栃木県国民健康保険団体連合会が実施主体となる特定健診受診率向上支援事業（勸奨通知の送付等）を実施した。今後も事業を実施し、受診率の向上に努める。</p> <p>国は、「特定健康診査等基本指針」において、平成29年度の国保の実施率目標値を60%に設定したが、全国的に見ても目標値と実績値が乖離している状況にある。本市の特定健診受診率のKPIは、国の方針に準拠し29年度の目標値を60%に設定しているため、達成度は75%でありC評価となってしまった。しかしながら、本市は県内で6位、市では大田原市について2番目に受診率は高い。</p> <p>国は、平成30年度から平成35年度までを計画期間とする国保の特定健康診査等実施計画（第3期）における、平成35年度の目標値について、引き続き60%に設定した。</p> <p>本市においても、平成30年3月に「下野市国民健康保険特定健康診査等実施計画（第3期）」を策定し、平成35年度の目標値を60%と設定したため、30年度、31年度の目標値を実績に基づいた数値に修正する。また、平成28年度の実績値も確定したため、修正する。</p>						
担当課	市民課							
	備考	<p>【H30：実績修正】平成28年度の実績値が確定したため、44.7%へ修正する。</p> <p>【H30：目標値修正（案）】下野市国民健康保険特定健康診査等実施計画（第3期）との整合性を図るため、平成30年度の目標値を60.0%から47.0%へ、平成31年度の目標値を60.0%から50.0%へ、それぞれ修正する。</p>						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
80	地域福祉の取組の満足度 (第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	3	目標値	—	—	—	—	4
		最終目標値	実績値	—	—	—		
		4	達成度	—	—	—		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>平成29年3月に「下野市みんなで築く 地域の絆プラン」第2期地域福祉計画 地域福祉活動計画 を市社協と連携しながら策定したが、平成29年度は、下野市地域福祉計画推進委員会を立ち上げ、期間満了になった第1期計画の期末検証、第2期計画の進捗状況の把握と今後の取り組みについて検討した。</p>						
担当課	社会福祉課							
	備考							

(オ) 将来を担う人づくり	<p>学校・家庭・地域社会が連携し、将来を担う児童生徒の育成と地域に開かれた特色ある教育づくりを推進するため、小中学校の教育においては、学ぶ力・豊かな心・健やかな体を育む創意ある教育活動の展開を進め、英語教育、特別支援教育、情報教育、道徳教育、食育などの更なる充実を図るとともに、学習機器の整備を推進し、教育環境の一層の向上を図ります。</p> <p>学校適正配置については、地元住民との合意形成や学校（保護者）との連携を図りながら、小規模特認校制度の取組の検証、南河内地区における小中一貫教育の推進、通学路等の安全確保と施設環境の改善などの課題に取り組みます。</p> <p>また、学校施設の整備については、学校の適正規模や適正配置を視野に入れたつ、効率的かつ計画的な施設整備を推進します。</p>
---------------	--

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
81	学ぶ意欲と自己有用感の評価点（小学校） （とちぎっ子学習状況調査を評点化したもの※最高値4.00）	3.20	目標値	3.20	3.21	3.22	3.24	3.25
		最終目標値	実績値	3.20	3.20	3.18		
		3.25	達成度	A	B	B		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組 子どもたちの学ぶ意欲を高めるような学習課題の工夫やICT機器の活用などについての研修の機会を設け、教員の資質向上を図った。多くの学校で、授業改善の視点での校内研修に力を入れた。分かる授業を展開するために、ねらいを明確にした学習指導の工夫・改善について、各校を訪問して指導・助言した。 これらの取組にもかかわらず、全体平均値が下がる結果となった。これは、4年生の平均値が非常に低くなっている（3.12）ことによる。5年生では3.23となっており、目標値に達している。5年生では取組の成果が現れてきているのではないかと考える。今後もさらに授業改善に継続して取り組み、主体的に学ぶ児童が増えるように学校を支援していく。	担当課： 学校教育課 備考						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
82	学ぶ意欲と自己有用感の評価点（中学校） （とちぎっ子学習状況調査を評点化したもの※最高値4.00）	3.01	目標値	3.01	3.02	3.04	3.07	3.10
		最終目標値	実績値	3.01	3.01	3.02		
		3.10	達成度	A	B	B		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組 子どもたちの学ぶ意欲を高めるような学習課題の工夫やICT機器の活用などについての研修の機会を設け、教員の資質向上を図った。多くの学校で、授業改善の視点での校内研修に力を入れた。また、分かる授業を展開するために、ねらいを明確にした学習指導の工夫・改善について、各校を訪問して指導・助言した。 目標値に届いてはいないが、昨年度よりも数値が上昇した。継続した取組の成果が現れてきているのではないかと考える。今後もさらに授業改善に継続して取り組み、主体的に学ぶ生徒が増えるように学校を支援していく。さらに小学校での子どもたちの学びや経験を、中学校に繋げられるように、小中一貫教育の取組を強化していく。	担当課： 学校教育課 備考						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
83	小中学校の教育の取組の満足度 （第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの）	4	目標値	—	—	—	—	5
		最終目標値	実績値	—	—	—		
		5	達成度	—	—	—		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組 知・徳・体のバランスの取れた児童生徒を育成するため、小中一貫教育の視点を取り入れ、教職員の資質向上、特色ある学校づくりを図った。小中の連携だけでなく、小学校同士での連携も強化して、中学校区内の学校がお互いに連携して地区内の子どもたちを育てていくという意識が強まった。 平成31年度の小中一貫教育導入のため、全市的に小中一貫教育の実践研修を進め、年間指導計画等を整備していく。また、学校運営協議会を活用して、地域とともにある学校を目指し、学校と地域が一体となって子どもたちを育てていく仕組みを確立していく。そのために、今後も継続的に施策を展開し、将来を担う児童生徒を育成する。	担当課： 学校教育課 備考						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
84	小中学校校舎への空調設備設置数	—	目標値	12校	4校 (計16校)	—	—	—
		最終目標値	実績値	12校	4校 (計16校)	—		
		16校	達成度	A	A (達成)	達成済		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成28年度で全小中学校16校への空調設備設置が完了し、目標を達成した。						
担当課	教育総務課							
備考								

(カ) 生涯にわたり学べる機会づくり	市民の自己の実現と交流、学びを生かす環境づくりを推進するため、多様な学習機会を通じた市民の自己実現と交流、学習成果の社会還元による協働のまちづくりを支援し、生涯学習による下野市の文化づくりを推進します。 公民館では、家庭教育等ライフステージに応じた多様な学習やまちづくりに関する学習を提供し、市民の社会参加意識の高揚を図ります。図書館では、さまざまな資料や情報、学習機会の提供により市民の学習活動の支援を行います。生涯学習情報センターでは、「Youがおネット」の運営や市民活動の支援を通して、学びを生かした市民によるまちづくりを促進します。さらに、ふれあい学習・ファミリエ下野市民運動等の学校・家庭・地域社会の連携による子どもの健全育成を推進します。
--------------------	--

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
85	講座・講演会の年間受講者数	8,242人	目標値	8,242人	8,300人	8,400人	8,500人	8,600人
	(生涯学習文化G/生涯学習情報センター・公民館・図書館主催講座の年間受講者数)	最終目標値	実績値	8,421人	8,574人	9,491人		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	8,600人	達成度	A	A	A		
	担当課	生涯学習文化課	受講者数は増加している。今後も受講者のニーズや社会情勢に即した講座を開催するとともに、学習成果を地域づくりに活かせるような支援を行っていく。					
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
86	図書館の市民1人当たりの年間貸出冊数	6.23冊	目標値	6.3冊	6.4冊	6.6冊	6.7冊	6.9冊
	(生涯学習文化G/生涯学習情報センター・公民館・図書館)	最終目標値	実績値	6.33冊	6.1冊	5.7冊		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	6.9冊	達成度	A	B	B		
	担当課	生涯学習文化課	大松山運動公園の工事で石橋図書館の入館者が減少した。また南河内図書館に隣接する南河内公民館の大規模改修工事の影響で南河内図書館の入館者数が減少した。これらのことから、図書館の貸出冊数が減少した。 工事完了後は、広報やイベントなどを通じたPRを行い、貸出冊数が増えるようにしていきたい。					
	備考	【H28】 目標値7.23冊から6.9冊へ修正（図書館基本計画との整合性を図るため）。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
87	公民館の利用者数	14万7千人	目標値	14万7千人	14万8,800人	15万600人	15万2,400人 13万5,000人	15万4,200人 13万5,000人
	(公務間の年間利用者数)	最終目標値	実績値	15万4,842人	13万5,560人	11万2,420人		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	15万4,200人 13万5,000人	達成度	A	B	C		
	担当課	生涯学習文化課	平成29年度は、以前より利用されていた各種団体が新庁舎において総会等（文化協会、育成会等）を開催し、また、南河内公民館の大規模改修工事のより、新設の薬師寺コミュニティセンターの利用が促進され、利用者数の減少となった。なお、全館とも高齢化による自主サークル数の減少により全体の利用者数が減少した。 今後は講座等企画を工夫するとともに、自主サークル等の支援・育成を行い、利用者数の増加を図る。また、各館とも計画的な改修・修繕により、生涯学習実施機関として学習環境の整備をしていく。					
	備考	【H28】 目標値を15万6千人から15万4,200人へ修正（総合計画との整合性を図るため）。 【H30：目標値修正（案）】 新庁舎使用による利用者数の減少を考慮し、目標値を15万4,200人から13万5,000人に修正。						

(キ)市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり

市民がスポーツに親しみ、遊び、楽しむことができる環境づくりを推進するため、全ての市民が生涯にわたってスポーツを“楽しむ”、スポーツを通して“つながる”、スポーツに“熱くなる”取組を進め、市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ活動の充実を図ります。

また、安全・安心で快適なスポーツ環境の整備に取り組むため、耐震診断に基づく改修や施設の修繕を行うとともに、市民が集い、多種目のスポーツ・レクリエーション活動の拠点となる総合的な運動公園として大松山運動公園の整備を推進します。

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
88	スポーツ活動の実施率 (成人の週1回以上のスポーツ活動の実施率)	51.7%	目標値	—	—	—	—	53.0%
		最終目標値	実績値	—	—	—	—	
		53.0%	達成度	—	—	—	—	
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成29年度についても下野市スポーツ推進計画に基づき、スポーツ活動の実施率向上の取組を行っている。詳細な実績値の調査はスポーツ推進計画の中間年（H32年）に市民アンケート調査を行う計画である。今後もスポーツ推進計画に基づいた取組を推進していく考えである。					
担当課		スポーツ振興課						
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
89	スポーツ施設の利用者数 (スポーツ施設の年間利用者数)	62万1千人	目標値	62万5千人	63万人	63万5千人	64万人	64万人
		最終目標値	実績値	64万7千人	63万7千人	56万4千人		
		64万人	達成度	A	A	B		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		大松山運動公園、国分寺B&G海洋センター、南河内東体育館の改修により利用者が減となった。 今後も老朽化した施設を計画的に改修し、利用しやすい体制を維持していく予定である。					
担当課		スポーツ振興課						
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
90	大松山運動公園の整備	—	目標値	—	—	—	整備	整備開園
		最終目標値	実績値	—	・用地取得完了 地権者34名 61,673.35㎡ ・造成撤去工事	・陸上競技場管理棟整備 ・多目的グラウンド整備 ・造成工事 ・下水道工事 ・伐採移植工事		
		整備開園	達成度	—	—	—		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成29年度に主要施設となる陸上競技場・管理棟整備（2か年継続事業）と多目的グラウンド整備を施工することができた。 このため、平成30年度に陸上競技場・管理棟整備の他、駐車場やトイレ、遊具等の整備工事に着手し、年度内に整備を完成させて、平成31年5月の開園を目指す。					
担当課		スポーツ振興課						
備考		【H30：目標値修正（案）】整備が順調に進んでおり、平成31年5月の開園を目指す予定のため、目標値を整備から開園へ修正する。						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
91	耐震補強に取り組む 体育施設数	—	目標値	1施設 (延1施設)	2施設 (延3施設)	1施設 (延4施設)	1施設 (延5施設)	1施設 (延6施設)
		最終目標値	実績値	1施設 (延1施設)	2施設 (延3施設)	1施設 (延4施設)		
		6施設	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値 の分析及び今後の取組	平成26年度に下野市体育施設改修計画を作成し、平成29年度は1施設耐震補強工事を実施した。 平成30年度は設計業務委託を行い、平成31年度に工事に取り組む予定である。						
担当課	スポーツ振興課							
備考								

(ク)文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり	<p>文化的に豊かな市民生活を送ることができる環境づくりを推進するため、文化協会などの文化団体の活動を支援し、市民の文化芸術活動を推進します。グリムの館の効率的な管理運営と利活用の充実を図るとともに、市民ニーズ等を勘案し、文化芸術施設の整備について検討を進めます。</p> <p>文化遺産は、古から未来へつなぐ本市の重要な宝であり、引き続き整備を推進するとともに、甲塚古墳出土埴輪等の重要文化財指定に向けた作業を進め、展示収蔵施設とするしもつけ風土記の丘資料館の改修整備を進めます。また、地域間交流においては国内の様々な分野において交流を推進するとともに、国際交流や多文化共生の相互理解を一層推進するため国際感覚豊かな人材を育成します。</p>
---------------------------	--

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
92	グリムの森・グリムの館の来園者数 (グリムの森・グリムの館の年間来園者数)	9万人	目標値	9万300人	9万600人	9万1千人	9万1,300人	9万1,800人
		最終目標値	実績値	11万4,281人	12万3,744人	13万8,119人		
		9万1,800人	達成度	A	A	A		
	担当課	生涯学習文化課	<p>指定管理者（一財）グリムの里いしばしによる管理運営が、効率的かつ安定的に継続して行われている。</p> <p>平成29年度第4回市議会定例会において、平成30年度から平成32年度までのグリムの森・グリムの館における指定管理者の指定について議決された。</p> <p>また、市と財団とで協議を進め、地方創生拠点整備交付金を活用し、グリムの森に、誰もが入ってみたいとなるような、話題性に富み、今まで以上の来場者が見込まれる新しい建物として「お菓子の家」を建築するとともに、グリムの館におけるさらなる利用者の増加、利用者の利便性向上を図るため、2階図書コーナーを控室兼会議室に改装した。</p> <p>平成30年度においては、「お菓子の家」オープン初年度のため、市と財団等で連携し、グリムの森・グリムの館・お菓子の家のPRを積極的に行い、来客者の増加を図る。</p> <p>また、ボランティア活動が安全・効率的に実施できるよう、ボランティア活動支援施設への進上路を新設する。</p>					
備考		【H28】目標値9万2千人から9万1,800人へ修正（総合計画との整合性を図るため）。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
93	下野薬師寺歴史館・しもつけ風土記の丘資料館ボランティア会員数	40人	目標値	42人	44人	46人	48人	50人
		最終目標値	実績値	42人	53人	77人		
		50人	達成度	A	A	A		
	担当課	文化財課	<p>平成29年度は、市内の文化財のガイドの養成を目的として、新たに「文化財観覧ガイド養成講座」を実施した（全5回延べ受講者数259名）。講座終了後に24名のボランティア登録があった。</p> <p>平成30年度も引き続き講座を開催するとともに、登録したボランティアのスキルアップに向けた支援を実施していく。</p>					
備考		【H28】下野薬師寺歴史館に加え、しもつけ風土記の丘資料館を追記。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
94	国内交流協会会員数	64人	目標値	65人	65人	66人	66人	67人
		最終目標値	実績値	68人	70人	74人		
		67人	達成度	A	A	A		
	担当課	市民協働推進課	<p>協会活動のほか、会員の獲得に向けてPR等を行った。今後も協会活動のPRを進めていく。</p>					
備考								

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
95	国際交流協会会員数	375人	目標値	378人	381人	384人	387人	390人
		最終目標値	実績値	380人	380人	386人		
		390人	達成度	A	B	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	市のイベントで協会活動をPRした結果、6名の増となった。協会WEBサイトやパンフレットによる情報発信等、協会活動を広くPRすることにより、会員数の増加を目指す。						
	担当課	市民協働推進課						
		備考						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
96	国指定史跡地の整備進捗率 (国指定史跡の公有化率)	61.50%	目標値	—	—	—	—	63.0%
		最終目標値	実績値	63.1%	65.5%	65.5%		
		63.0%	達成度	—	—	—		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成29年度は史跡の保存整備工事、実施設計、整備の基礎資料を得るための発掘調査を実施した。公有化は実施していない。 下野薬師寺跡では、再建塔地区の整備工事を行い、公有化した東側指定地の造成工事・幢竿の復元工事を実施。 下野国分寺跡では、平成27年度に公有化した指定地（西側の一部）の整備を行うための実施設計を実施。 下野国分尼寺跡では、整備の基礎資料を得るために、公有化が完了した北側指定地の発掘調査を実施した。 平成30年度も継続して整備工事・発掘調査を行い、史跡の保存整備を推進していく。						
	担当課	文化財課						
		備考						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
97	しもつけ風土記の丘資料館 入館者数 (「しもつけ風土記の丘資料館」の年間入館者数)	1万5千人	目標値	1万6千人	1万7千人	1万8千5百人	1万7千5百人	1万8千人
		最終目標値	実績値	1万8千671人	1万9千人	2万1千121人		
		1万8千人	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	年間を通じて約2,000名の県内の小学生が歴史学習として来館。一般見学者の来館は花まつり期間中に集中している。また、平成29年度は「埴輪」をテーマとして定期歴史講座を開催した(全5回延べ受講者数169名)。 平成30年度は企画展等の新たな取り組みを行い来館者増を目指す。						
	担当課	文化財課						
		備考						

(ケ) 安全・安心な生活環境づくり	<p>市民が安心できる生活環境づくりを推進するため、消防・防災対策では、自主防災組織を設置するなど市民・地域・行政が連携強化を図るとともに、災害時に迅速かつ適切な応急対策を行うために消防署・消防団の充実を図ります。防犯対策では、引き続き警察や関係団体と連携した防犯活動を推進します。また、空き家対策では「空き家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、特定空き家等の所有者に対し適正に管理を行うよう指導等を行います。消費者行政では、消費生活センターにおける相談事業を中心に、消費者団体や事業者と連携を図りながら消費者情報を広く発信し、被害の未然防止や早期解決に向け取り組みます。交通安全対策では、交通指導員の適正な配置、自転車の正しい乗り方などの交通安全教育・啓発事業を実施するほか、カーブミラーや標識などの交通安全施設の整備を図ります。</p>
-------------------	---

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
98	自主防災組織設置数	8組織	目標値	8組織	10組織	12組織	14組織	15組織
		最終目標値	実績値	8組織	8組織	8組織		
		15組織	達成度	A	B	C		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>平成29年度は組織の設置の相談はあったが、年度中の設置には至らず、継続して検討している。平成30年度も組織化を検討している自治会が複数ある。今後も引き続き組織設置を支援するとともに、未設置自治会へ自主防災組織設置の啓発や先進自治会が行う訓練へ参加を呼びかけていく。</p>						
担当課	安全安心課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
99	消費生活に伴う相談及び問い合わせ件数 (消費生活センターの年間相談件数)	280件	目標値	280件	285件	290件	295件	300件
		最終目標値	実績値	272件	265件	360件		
		300件	達成度	B	B	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>消費生活に関する相談は、インターネットの利用者層の広がりにより増加している情報通信に関するものや特殊詐欺などの案件があり、内容についても多種・多様化しているが、特に架空請求のハガキによるものが多く寄せられ、複雑な内容の相談に対応した。今後も消費者の被害防止に向けて、消費生活センターの周知に努めるとともに相談体制の強化を図っていく。</p>						
担当課	安全安心課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
100	防犯の取組の満足度 (第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	3	目標値	—	—	—	—	4
		最終目標値	実績値	—	—	—		
		4	達成度	—	—	—		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>平成27年度に市内防犯灯をLED防犯灯に変更するESCO事業を行い、防犯体制の充実を図った。さらに街頭防犯カメラ設置補助事業については、年々周知が図られ、平成29年度は8件の設置があり、防犯環境の構築に寄与した。警察署や地元協力団体と協力して防犯の啓発を推進した。</p>						
担当課	安全安心課							
備考								

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
101	消費者保護の取組の満足度	3	目標値	—	—	—	—	4
		最終目標値	実績値	—	—	—		
	(第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1~5の数値で数値化したもの)	4	達成度	—	—	—		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	消費生活センターにおける相談事業を中心に、消費者及び消費者団体や事業者が協働し連携しながら消費者情報の発信を行った。被害の未然防止や早期解決に向けた消費者被害防止のための啓発を図る。						
	担当課	安全安心課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
102	交通安全対策の取組の満足度	3	目標値	—	—	—	—	4
		最終目標値	実績値	—	—	—		
	(第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1~5の数値で数値化したもの)	4	達成度	—	—	—		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	下野警察署、交通安全協会等、関係団体と共に、各期ごとの交通安全運動を実施し、高齢者と子供の交通事故防止、更にマナーアップ向上を目的とした広報啓発活動を展開した。						
	担当課	安全安心課						
	備考							

(コ) 快適に暮らせる環境づくり	<p>市民が安心して暮らすことができる快適な生活環境づくりを推進するため、デマンドバスの利用率向上を目指し運行形態を見直すとともに、広域市町との連携した交通ネットワークの構築を目指します。</p> <p>また、小山広域保健衛生組合を中心としたごみ処理の広域事業を推進し、市内統一したごみ処理と分別・リサイクルの徹底によるごみ減量化を推進します。</p> <p>環境行政については、下野市環境基本条例及び基本計画に基づき、しもつけ環境市民会議などによる、市民、企業、行政がそれぞれの特質を活かした協働による環境保全や環境創出事業を推進します。</p>
------------------	--

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
103	市民1人1日あたりの資源物以外のごみ排出量 (ごみ排出量の目標値)	527g/人/日	目標値	522g/人/日	518g/人/日	513g/人/日	509g/人/日	504g/人/日
		最終目標値	実績値	549g/人/日	479g/人/日	496g/人/日		
		504g/人/日	達成度	B	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>平成28年度から南河内・国分寺地区において、プラ容器包装の分別収集を実施しているが、焼却ごみの中には一部プラ容器の分別が徹底されていないものが混入されており焼却ごみとして排出されたため増加した。29年度より導入した「さんあーる」分別アプリや、広報紙などを活用し、分別徹底の周知に努める。</p> <p>参考：プラ容器包装収集量 740.64 t を焼却ごみとして計算すると526g/人/日となる。</p>						
担当課	環境課							
	備考	【H28】目標値500g/人/日から504g/人/日へ修正（環境基本計画との整合性を図るため）。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
104	市民と企業・行政の協働による環境保全活動の実施 (下野市環境基本計画協働プロジェクト実施数)	1事業	目標値	2事業	2事業	3事業 61事業	3事業 47事業	4事業 47事業
		最終目標値	実績値	2事業	2事業	44事業		
		4事業 47事業	達成度	A	A	C		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>当年に10年計画の中間年として進捗及び後期計画のプロジェクトの見直しを行い、「しもつけ環境市民会議」のコーディネートしたものを事業実績として目標設定していたが、各課への事業ヒアリング等に基づき協働事業としてコーディネートにかかわらず市民等と実施しているものも実施数とする見直しを行った結果、目標値及び実績値が大幅に増加した。</p> <p>実績値において、10年計画の目標値を設定しており概ね計画通りに進んでいるが、実施にあたり様々な課題も出ており市内の推進委員会を活用しながら進捗管理を行っていく。</p> <p>平成30年度においても、環境基本計画の第3編に記載されている協働プロジェクトのうち、環境教育・環境学習の推進と環境交流の促進について市民団体と協働プロジェクトを、「しもつけ環境市民会議」をコーディネーターとして実施していきたい。</p>						
担当課	環境課							
	備考	【H30：目標値修正（案）】環境基本計画の見直しの中で平成25年度～平成29年度の計画事業数を61事業へ、平成30年度からの目標値を4事業から47事業へ上方修正。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
105	公共交通の整備の取組の満足度 (第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	3	目標値	—	—	—	—	4
		最終目標値	実績値	—	—	—		
		4	達成度	—	—	—		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>平成29年度は、バスの利用者等にアンケートを行い、利用者の満足度や要望、利用促進につながる改善について分析検討を行なった。今後も運行形態や課題についての検討を行ないながら、将来にわたり持続可能な地域公共交通を目指し、事業の推進を図る。</p>						
担当課	安全安心課							
	備考							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
106	環境対策の取組の満足度 (第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1~5の数値で数値化したもの)	4	目標値	—	—	—	—	5
		最終目標値	実績値	—	—	—		
		5	達成度	—	—	—		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	下野市環境基本計画推進委員会を中心に環境対策を実施した。平成29年度に新たに設置した下野市環境基本計画推進部会により、具体的に進捗管理を行っていく。						
	担当課	環境課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
107	公害対策の取組の満足度 (第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1~5の数値で数値化したもの)	4	目標値	—	—	—	—	5
		最終目標値	実績値	—	—	—		
		5	達成度	—	—	—		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	下野市環境基本計画推進委員会を中心に環境対策を実施した。平成29年度に新たに設置した下野市環境基本計画推進部会により、具体的に進捗管理を行っていく。						
	担当課	環境課						
	備考							

(サ) 協働のまちづくりの体制づくり	下野市自治基本条例に基づく協働のまちづくりを推進するため、市民、NPO、企業等の多彩な担い手によるまちづくりと連携し、市民が主体となった地域づくり活動に対する支援の充実を図ります。 また、調和のとれた豊かな社会を実現するための人権意識啓発を推進するとともに、男女共同参画社会の実現に向けた取組を推進します。
--------------------	--

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
108	市民活動補助事業の団体数 (審査会を通過する年間団体数)	10団体	目標値	11団体	11団体	12団体	12団体	13団体
		最終目標値	実績値	11団体	19団体	15団体		
		13団体	達成度	A	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	制度の周知をはかり、事前の募集説明会の開催など、関心のある団体が応募しやすい環境づくりに努める。 また、採択された事業をすすめていくにあたり、相談等は随時受付し、必要に応じてアドバイスや対応を行っていく。						
担当課	市民協働推進課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
109	人権教育講演会の受講者数	100名	目標値	100名	110名	120名	130名	140名
		最終目標値	実績値	20名	300名	120名		
		140名	達成度	D	A	A		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	昨年度の男女共同参画との合同事業と比較すると参加者は減少したが、単独での実施としては参加者は多数であった。 今後も多くの方に参加いただけるよう、さまざまな人権教育について講演会を企画していく。						
担当課	生涯学習文化課							
備考		【H28】 目標値150名から140名へ修正（総合計画との整合性を図るため）。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
110	社会全体で「男女平等である」と回答する人の割合 (男女共同参画プラン策定時アンケート調査において実施)	12.2%	目標値	—	—	—	—	18.0%
		最終目標値	実績値	—	—	—		
		18.0%	達成度	—	—	—		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	※アンケートは次期男女共同参画プランの策定にあわせて実施する（平成31年度実施予定）。						
担当課	市民協働推進課							
備考								

(シ) 健全な行財政運営の仕組づくり	行政運営の効率化による健全財政のまちづくりの推進のため、引き続き行財政の計画的・効率的な運営を図るとともに、公共施設の計画的・効率的な管理運営・利活用を推進し、財政負担を考慮した施設の再配置計画に取り組みます。また、市民と行政の情報共有をより一層推進するため、積極的な情報発信に取り組みとともに、単独市町では実施が難しい事業等については、周辺市町と連携した取組を推進し、広域的な住民サービスの充実を図ります。
--------------------	--

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
111	公共施設等総合管理計画 策定 (公共施設マネジメント基本方針等の策定)	—	目標値	—	策定	—	—	—
		最終目標値	実績値	—	策定	—		
	策定	達成度	—	A (達成)	達成済			
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成29年3月に公共施設等総合管理計画を策定し、目標値に関しては達成した。平成29年度は、この公共施設等総合管理計画に基づき、施設ごとの具体的な管理方針を定める個別施設計画の策定に向けた検討をする予定である。						
担当課	総合政策課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
112	市ホームページアクセス数 (市ホームページの年間アクセス数)	110万件	目標値	112万件	114万件	116万件	118万件 104万件	120万件 106万件
		最終目標値	実績値	124万件	129万件	106万件		
	120万件 106万件	達成度	A	A	B			
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	常に最新の情報に更新するのももちろん、イベント情報をはじめ多くの人に伝えたいお知らせをトップページに掲載し、利用者の目に留まりやすくすることで情報を幅広く発信できるよう努めている。しかしながら23万件減少した理由は、国の施策であるネットワーク強化によりインターネットとLGWANを分離したことによる影響(18万件)と、4月にリニューアルした際に解析ツールの設定が2週間(5万件)空いてしまったことによるものと考えられる。よって、ネットワークの分離による影響を考慮して目標値を見直し、下方修正しました。						
担当課	総合政策課							
備考		【H30：目標値修正(案)】国の指導に基づくネットワーク強化による影響を加味し、目標値を120万件から106万件に修正。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
113	共同連携事業数 (広域連携事業の事業数)	21事業	目標値	21事業	22事業	64事業	65事業	66事業
		最終目標値	実績値	21事業	62事業	66事業		
	66事業	達成度	A	A	A			
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	小山地区定住自立圏における小山市と本市の連携事業は、「病児保育事業の連携」事業が追加され41事業とした。小山地区定住自立圏共生ビジョンの改訂により、取組ごとに成果指標が設定され、今後は目標値の達成に向けて取り組むこととした。 また、下野市・上三川町・壬生町連携会議における「新たな人の流れを生み出す1市2町連携プロジェクト事業」として、引き続き、連携婚活バスツアーを3回実施した。その他、県及び県内25市町の連携による「ツール・ド・とちぎ事業」、下都賀地区における「広域連携による観光振興事業」、下野市・上三川町・壬生町による「しもつけ古墳群整備・活用事業」を実施した。 今後、より連携を深め、事業の効率化・サービスの充実等を図っていくとともに、定住促進・地域活性化を図っていく。						
担当課	総合政策課							
備考		【H29】目標値23事業から66事業へ修正(小山地区定住自立圏における広域連携事業を加えたため)。						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
114	他市町との連携の取組の満足度	3	目標値	—	—	—	—	4
	(第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1~5の数値で数値化したもの)	最終目標値	実績値	—	—	—		
		4	達成度	—	—	—		
	平成29年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>小山地区定住自立圏では、小山地区定住自立圏共生ビジョンが改訂され、取組ごとに成果指標が設定された。今後は目標値の達成に向けて取り組むこととし、中心市である小山市との連携事業の展開により地域のサービス等を充実させ、満足度の向上を図る。</p>						
	担当課	総合政策課						
	備考							